

(以下バイノーラル)

《ふらり……》

(寝起きで2度の射精をした“あなた”が疲れてフラつく音)

んん？ どうかしたのかのう、主様？

……ああそろか、そうじやのう。

飯を食べたとはいえ、疲れて起きた後に……体を使わせ過ぎてしまったかのう？

うう……申し訳ありませんでしたのじや、主様。ワシが、主様の好意に甘えてしまったばかりに無理をさせてしまったようじやのう……。

《しゅる……ぎゅつ》

(身を寄せ、体を支える音)

今日は、もう眠つて下さいのじや。

天気さえ良ければ、言つていた通り明日にでも帰り道がある場所まで案内させて貰うのじや。だから安心して、今日はもう……お休み下さいませなのじや。

さひ、このちじやよ。

起きた時に使つておつたもので申し訳が、すぐに床まで案内させて貰うからのう。……もうちよつとワシに体を寄せて下さつて良いのじやよ？

《どす、とす……とき》

(体を支えながら歩き、“あなた”を床に寝かしつける音)

ほら、主様。

床に着いたのじや、そのままゆつたり身を沈めて……目を閉じ下さつて良いからのう。今、手拭で主様の体を軽く拭かせて貰うからの……くふつ

流石に、情事の残りが付き過ぎてしまつたからのう。少しは拭かねば風邪を引いてしまうのじや。

《しゅる……》

(手拭を取ろうと体を動かした音)

んつ……、主様のマラも……雄の場所がぐつしょりじや。

ワシの出した液と、主様の子種汁の残りがべつとりしておつて……体も、ワシのために動いてくれたせいで、汗が所々浮かんでおるのう。

……情事の残りだけ、先に口で清めさせて頂いた方が良さそうじやの。じつとしておつて欲しいのじや……んつ

んつ、じゅる……くちゅ、ちゅる……くちゅ、ちゅう……じゅるつ

いやらしい匂いが、こびりついておる、のう……

発情した雌狐と……んつ、ちゅう……ちゅるうつ、くちゅつ

応えてくれた、優しい雄の……暖かな残り香と味が、たうぶり口に広がるのじや……くふつ

んつ、ちゅう……れちゅうつ、じゅるつ……ちゅうつ、くちゅ……ちゅう、ちゅうつ……ちゅ

るううううう♥♥

んつ……ふはああ♥♥

はあ……ふふ、こんなもの、かのう?

うん……べたつきは取れたのじや♥

では、体の方を拭かせて頂くからのう

……くふつ♥

口に含んでおつたら、主様のが少し大きくなりそうじやつたけど……疲れておるのにこれ以上飲ませて貰つては、体に障るかもしれないからのう。

我慢させて貰うのじや……くふつ♥

さ、汗と一緒にワシの涎のあとも拭いてしまうからのう、そのままじつとして下され、じや♥

《バし……バし……》

(暫し、近くにあつた手拭で体を拭く音)

……良し、こんなものか、のう?

全体的に拭いたので、少しさっぱりしたと思うのじや♥

ふふ……アソコを拭いておると、反応して少しひくりとしておつた主様は可愛かつたのう……くふ

ふ♥ あはつ♥ 穴談じや、そんなもの言いたげな顔をせんて欲しいのう♥

言うたじやろう、お主の……主様の体に障るよくな事をこれ以上はしたくないと。

ワシももうこれ以上は離れておくので、ぐつすり体を休めて下さいなのじや♥

ではのう……。

《しゆる……ぱしつ》

(ナコが身を起_二こうとして、手を掴まれる音)

……くあおう? 主様、どうかしたのかの?

何か欲しいものがあつたのなら、持つて来るから遠慮せず言うて欲しいが……ふえ?

……ワシが傍に居つた方が良いのか、の?

もう……ワシなんかが傍に居つては、寝にくいのではないじやろうか?

ほれ、ワシは……お主と違う所があるから、チラチラと目に入つて……気になつてしまわぬか

のう?

それに、先程までお主に……主様にお情けを預いて乱れたばかりじやから……。

その、ワシの方はまだ体に色々液がついてしまつておるから、主様の体が触れたら不快じやと思うのじやが……。

もう?

もう一度口で、かの?

あう……ダメじやよ! さつきは、つい……先程までのまぐわいの名残で、つい咥えてしもうちたが:

……これ以上お主を疲れさせるつもりはない、言うたじやろう!

ダメ……ダメじや!

手でもいいとか、そういう話じやないんじやよ……ワシは、お主に疲れを取つた欲しいんじや!

今やつたら、それこそぐつたりし過ぎてしまふじやろう?

お主は……明日、帰るんじやろう……し。

そんな体に無理などさせられぬ!

だから、ダメじや……絶対ダメなのじやつ!

くあおう……主様は良き人じやが、快樂に弱すぎるのじやつ!

……はあ。

主様は我僕なのじや……ワシだつて、我慢しておるのじやよ?

……主様さえ元気なら、本当はもつと……ワシは主様の熱を感じられるの、堪らぬ心地よく思う手おるのじやから。

いつまでだつて口を吸い、子種汁を飲ませて頂き、主様に好きなだけ……雌狐の膣を染めて頂きたいと思うておるのじや……。でも、ワシが調子に乗つてはダメじやと、これでも自制しておるのじや……お願いじやから、言う事を聞いて下され。

くあおん……?

それなら、せめて眠るまで横に……かの?

……先程も言つたが、本当に気にならぬのか?

うやあ、そこまで主様が気にならないと……ワシに傍に居れと言うて下さるのなら、眠るまで傍にいさせて頂くが、のう?

《しゆる……。たんつ》

(隣に座る音)

……くやう。

こう、いう時、どうしたら良いのじやろうか……?

眠る誰かの傍にただいた事などないから、うう……よく、分からぬのじや……。

うー……頭でも、撫でれば良いのか、のう?

ちど、それは流石に主様を童(わらび)扱いし過ぎかのう……?

あう……困つた、困つたのじや、どうしたら良いのかのう……ううん……。

ひやうつ! ? なつ、なんじや主様! ?

うやうつ! ? い、今の聞こえておつたのか! ?

……くあおん? ……あ、頭を撫でるので良いのかのう?

ふ、む……それがお主を辱める(はずかしめる)事でないのなら、ワシとしては構わぬが……。

う、む……お主が、主様が望まれるのなら、そうさせて貰おうかのう。では、そうじやのう……そうさせて頂くとしようかの、

《ぐつ……さす、さす》

(頭を撫でる音、以下背景でうつすらとリピート)

……どうじや、こんな感じで良いかのう?

ふむ……良いのなら、ワシとしては満足じや、

ふふ、考えてみれば、先程……抜けてしまう時にお返しという感じじゃな♪
よーしよーし……ふふ、やや子を相手にしているようじやが、主様が喜んで下さるのなら嬉しい
のう♥

良い子じや、良い子じや……主様は本当に良い子じや♪
疲れておつたのに、こんなワシに気を使って下さつて……情けを下さつて、あんなに熱い精を注いで
下さつた……主様は、本当に素敵な男(おのこ)じやよ♥

こんな行為で、その感謝を少しでも返せておるとは思わぬけれど……主様がそうしたいと思うの
なら、ワシはいっぱいいっぱい……それに応えたいと思うておるからのう♪
よーしよーし……良い子じや良い子じや、主様は良い子じや……だから今はべつすりおやすみなさ
いませ、じや。

素敵な素敵な、男(おのこ)のお主……主様♥

ワシはお主が迷い込んで来た時、とても戸惑つておつたが……。

けれど、変化をせずとも、ワシをワシとして見てくれる人間が現れたと思うて……はしゃいでおつ
たように思うのじや。

そのせいで、酒の力も借りたとはいえ、お主に無理を言うてしまつた……あんなに自分の精神が
弱つておつたなどと、ワシは全く気付いておらんかつた……そのせいで、無理をさせてしまつて、本
当に申し訳ないのじや。

きっと少しの間しか、……明日にでもお主は帰つてしまふじやろうが。

せめて、お主がここを出て行くまでは……ワシはお主に尽くすよう頑張らせて貰うからのう。
……また、ワシの寂しさが暴れてしまふたりせんと良いのじやが。
うん……頑張るのじや。

よーしよーし、良い子で優しい……ワシの主様♥

明日こそ、尽くさせて頂くからの……ゆつくりゆつくり、今日はお休み下されなのじや。

よーしよーし……素敵で愛しい、甘い熱をくれた人間のお主♥

ゆつくり眠つてまた、明日……明日もお主が美味しいと言つてくれるものを「さへさせて貰うから

のう。

……ふふ、べついておるじやろうし、風呂の用意もしてやろうかのう♪
色々、いっぱいさせて貰うからのう……楽しみにして下されなのじや♥

よーしよーし……よーしよーし……今はべつすり、何も考えずに、目を閉じて……べつすり、たつぱり

……おやすみなさいませ、じやつ♥
優しくて、エッチで……素敵な、人間の、ワシの主様……

ふふ……んづ、ちゅづ♥